

【担当教員名】 佐山光子	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

看護は「人」「健康」「環境」「看護」の4概念で構成され、実践の科学としての構築を目指しています。しかし、その役割や機能、独自性と専門性を主張し、質の高い看護を人々に提供していくためには、社会的に認知され、また推進していくパワーが不可欠です。この科目では、看護職に必要な戦略的アプローチとして、政策諸理論および政策形成に関する事項を学習することにより、看護政策への関心とポリティカルセンスを高め、看護職が政策過程に参画することへの理解を深めます。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 政策および政策形成プロセスの概要が説明できる。
2. 看護に対する社会の認識の推移と歴史的背景についての概略が解説できる。
3. 看護職の社会的身分および教育・実践現場に影響を及ぼす法令や政策の概要を説明できる。
4. 米国医療・看護政策の経過と現状を理解し、我が国における看護政策のあり方について意見を言える。
5. 看護政策の充実・強化を図るための戦略について構想できる。
6. 看護職者が政策過程に参画するための方策を構想できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	看護職のための政策過程論：政策および政策過程とは	1	テキストによる講義
2	看護に対する社会認識の形成：我が国における看護政策の始まりとは看護に影響を及ぼす法令・政策および課題	2	テキスト・プレゼンテーション講義
3	(1)保健師助産師看護師法：看護の専門性と社会的責務、課題	3	テキスト・プレゼンテーション講義
4	(2)看護師等人材確保法：看護教育の大学化と社会背景、課題	3	プレゼンテーション講義・テキスト
5	(3)診療報酬：病院経営と看護体制、医療経済と看護、課題	3	配布資料による講義
6	米国の医療と看護政策：その光と影	4	配布資料による講義
7	看護政策の充実・強化を目指すための戦略発想とポリティカルセンス	5	講義・ディスカッション
		6	講義・ディスカッション

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	看護職者のための政策過程入門	見藤隆子、他	日本看護協会出版会	2006・1980円
	国民衛生の動向		厚生統計協会	2007年度版
参考書	授業時に紹介する。			
その他の資料	授業時に配布する。			
【評価方法】	【履修上の留意点】			
授業の出席および参加態度 (70%) レポート (30%)				